



第二循環器内科診療部長 鈴木 篤(すずき あつし)

平成 10 年 信州大学医学部卒 同年 4 月東京医科歯科大学神経内科入局
平成 11 年 ローテーションしていた横須賀共済病院で循環器の名医、青沼和隆医師に強い影響を受け、東京医科歯科大学循環器内科へ入局
平成 13 年 横須賀共済病院循環器内科勤務
平成 17 年 武蔵野赤十字病院循環器科 不整脈チーム
平成 20 年 ロサンゼルス Good Samaritan Hospital 短期留学。当時の不整脈最先端治療、3D mapping を学ぶ
平成 21 年 横浜南共済病院
平成 25 年 平塚共済病院 不整脈治療責任者
平成 28 年 JCHO 東京山手メディカルセンター
【専門分野】 不整脈
【主な資格】 日本不整脈学会専門医
日本循環器学会循環器専門医
日本内科学会認定医

＜先生は不整脈を専門に治療されているとお伺いしましたが、不整脈とは具体的にどういった状態を指すのでしょうか？＞

はい、不整脈というのは、一般的に心臓のリズムが乱れる状態を指しますが、リズムの乱れる脈以外にも、速い脈、遅い脈など本来の伝わり方をしていない脈すべてを不整脈といいます。また、一見正常に見える心拍でも、実は不整脈であることもあります。

＜えっ、一見正常に見えても不整脈なんですか!？＞

そうですね。心房粗動や心房頻拍などは、一見正常と見間違ふことがあり、専門医の先生がみると不整脈と分かります。不整脈はさまざまな症状を呈します。主な症状としては、胸がどきどきする「**動悸**」や「**めまい**」、さらに「**息苦しさ**」「**胸の痛み**」があります。そしてときには「**失神**」を起こす場合もあります。症状が無い場合もあるので注意が必要です。

＜ドキドキしてきました。症状もいろいろあるんですね＞

はい、さまざまな症状があります。不整脈の代表的なものの一つが**心房細動**であり、循環器科にかかりつけの患者さんの中でも非常に多く見られます。

＜心房細動というのも不整脈なんですね＞

はい、心房細動は、心房の収縮が不規則になる不整脈です。進行すると心臓内に血栓を生じ、砕けながら脳に飛び散って**多発性の脳梗塞**を起こす可能性があります。また、心機能が悪化して心不全になることもあり、更には認知症リスクの上昇も 1.42 倍に上昇すると報告されています。

＜脳梗塞や心不全、認知症にもつながっていくんですね＞

はい、ですので、しっかりとした治療が必要です。心房細動は高齢者に多いですが、若い方でも起こることがあります。症状はドキドキする動悸や、めまい・ふらつき、さらに足のむくみ・息切れ・呼吸困難などが見られることもあります。一方で、無症状の人も約半数いますので、日頃から健診などを受けておくことが大切です。

＜次に多い不整脈はなんですか＞

次に多い不整脈は、『**心室性期外収縮**』です。心室性期外収縮は動悸や脈の乱れを自覚する方もいらっしゃいますが、無症状の方が非常に

多く、健診で初めて見つかった治療に繋がることがあります。

＜ますます検査の重要性を感じます。健診を受けることは大事なことですな＞

その通りです。ぜひきちんと健診を受けてください。また、比較的若い人に多い『**発作性上室性頻拍**』という不整脈もあります。これは、まるで全速力で走っているような速い脈が特徴です。心房細動に合併しやすい『**心房粗動**』という不整脈も高齢者に比較的多く見られます。多いと言われる不整脈はこの4種類ぐらいです。

＜どんな治療方法があるんですか＞

不整脈の治療には、大きく分けて**薬物治療**と**カテーテルアブレーション治療**があります。薬物治療は歴史が古いですが、一般的に不整脈を完全に治すことはできません。お薬を飲み続けて不整脈を極力抑えるというイメージですが、必ずしも効果があるわけではありません。一方で、カテーテルアブレーション治療は多くの不整脈を高い成功率で根治することができます。

＜カテーテル治療とは簡単に言うとどんな治療なんですか？＞

カテーテル治療といっても、想像つかないですね。カテーテル治療は、足の付け根の血管からカテーテルと呼ばれる細長い管を通して心臓に挿入し、不整脈を起こしている心臓内の細胞や回路にカテーテルから発する熱でお灸を据えるというイメージの治療です。**心室性期外収縮**や**発作性上室性頻拍**、**心房粗動**では、この治療を行うことによって、高い成功率でほぼ根治、完全に治るといえるのが特徴です。

＜カテーテル治療で、不整脈の完治も期待できるんですね＞

はい、**心室性期外収縮**や**発作性上室性頻拍**、**心房粗動**の場合、典型的なものであれば、治療する場所がほぼ決まっているため、カテーテル治療による根治率は高いといえます。

＜ではカテーテルの治療にはいくつか種類があるんですか？＞

カテーテルから発する熱でお灸を据える**カテーテルアブレーション（焼灼術）**という治療方法が基本ですが、他にも、心房細動に特化した治療として、直径 28mm ほどのバルーンを-50℃前後まで冷却して心臓に凍傷を作る**クライオ（バルーン）アブレーション**や、逆に温める**ホットバルーンアブレーション**も行っています。**クライオアブレーション**は、発作性心房細動に対して 2015 年頃から日本でも始まった治療で、最近では難治性にも非常に効果があることが分かり、私も積極的に使用しています。なによりメリットがすごく大きいんです。比較的簡単に質の高い治療ができますし、安全性がとて高いために合併症が少なく、しかも治療時間が早いです。

＜簡単!安全!早い!良いことばかりじゃないですか＞

そうですね。ただ、心房細動には発作性の軽症例から持続性、長期



持続性といった重症例までさまざまです。クライオアブレーションは以前は軽症例しか対象になりませんでした。カテーテル焼灼術が比較的治療の柔軟性が高いのに対し、クライオアブレーションは肺静脈という血管を電気的に隔離するという型通りの治療に特化していました。ところが、2018 年頃から難治性の心房細動にも非常に効果があることが分かり、クライオアブレーションの適用範囲が広がりました。特に、これまでカテーテル焼灼術だと難しかったルーフライン治療（心臓の天井の部分に電気の通り道を遮る線を引いて、心房細動を防ぐ治療）が、クライオアブレーションを用いると、比較的簡単に質の高い治療が、安全、スピーディー且つ確実にできるため、お年寄りにも優しい治療が期待できるのです。



＜それは本当に素晴らしいですね、鈴木先生!＞

ありがとうございます。やはり、安全でより良い治療を提供することが理想だと考えています。このクライオバルーンの応用治療はドイツ、アメリカ、日本で始まったのですが、その治療を更に改良したのが、僕の考案した『**レイズアップテクニック**』という方法で、今ではその有効性が日本国内で非常に注目されています。

＜治療の可能性が広がっていくのが本当に驚きです!簡単!安全!早い!さらに優しい!なんて夢のようです＞

そうですね。ですが、クライオアブレーションを行っている日本の医療機関はまだ4割ほどで、更に『**レイズアップテクニック**』を用いた治療ができる施設はかなり限られます。

＜日本ではまだまだ少ない治療方法だけど、先生のところへ行けばその治療が受けられるということですか＞

そうです。今後もっとこの治療ができる施設が増えていくと思いますが、現状ではまだ少ないのが実情です。でも、僕のところへ来ていただければ、その治療をご提供することができます。当院はこのクライオバルーンアブレーション治療をメインで行っています。

＜どのタイミングで受診したらいいのか、すごく迷います＞

もちろん、息切れや動悸などの症状が強い場合は、近くのクリニックや病院を受診されることをお勧めします。普段からふとした時に、そんなに苦しくないけれど『**なんかちょっと胸が変だなあ、脈が変だなあ**』と感ずることが繰り返される場合も、ためらわずにご相談されることをお勧めします。

＜鈴木先生を受診するにはどうしたらいいんでしょうか＞

僕は金曜日以外で診療しています。お近くのクリニックの先生からご紹介いただくと診察がスムーズに進みます。また紹介状と一緒に検査データも受け取れるため、治療もすみやかに開始できます。もちろん、緊急の場合など僕宛に直接来ていただいても大丈夫です。金曜日以外

でも、火曜日には、不整脈専門医である優秀な女性医師 中村先生が外来を担当しておりますので、火曜日にご受診いただいても大丈夫です。火曜日と金曜日以外でも、不整脈のご紹介があれば、私たちが可能な限り対応いたしますのでご安心ください。

また、不整脈の患者さんを診ておられる近隣の医療機関の先生方におかれましても、何かございましたら、どうぞ遠慮なくご相談いただければ幸いです。

＜鈴木先生のとても頼りになるお話を伺うことができ、大変心強く感じました。実はとても優しい笑顔をお持ちの鈴木先生、今日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました＞

ありがとうございました。



当院では**マイナ保険証**をご利用の患者さん向けに会計時の**優先専用レーン**を設置しています。

診療費のお支払いが**スムーズ**です。是非、「マイナンバーカード」を健康保険証としてご利用ください。

ぜひ、一度使ってみませんか？ マイナンバーカードの保険証利用

マイナンバーカードの保険証利用には
さまざまなメリットがあります!



Point! 薬剤情報等の提供に**同意**をすると、
データに基づく適切な医療が受けられる!
さらに…健康保険証で受診した場合と比べて、
初診時等の窓口負担が低くなる!

Point! 限度額適用認定証等がなくても、
**手続きなしで高額療養費の限度額を超える
支払いが免除!**

詳しくは厚生労働省Webサイトでご確認いただけます。
詳しくは **マイナンバーカード 保険証利用**

